

駐車違反取り締まりによる商店への影響

日本共産党 丸尾 隆子

【答弁】 社会問題となっていた違法駐車については、平成18年6月の道路交通法の改正に伴い、昨年から当市でも民間監視員制度が導入されるとともに駐車禁止区域の拡大が実施されたところである。

この法改正に伴い、一部の商店街や商店の経営に大きな影響が生じているものと認識していることから、市としても商店街や地域住民の声をよく聞きながら、可能な対応について警察など関係機関と協議していきたい。(市長)

合併4地域の基幹産業である漁業の振興策

新生クラブ 村井 正幸

【答弁】 漁業を取り巻く環境は、漁業者の減少や高齢化、原油価格の高騰に伴う操業コストの増高等多くの課題を抱え、厳しい状況にある。市としては、水産資源の維持・増大や生産基盤の整備、さらに操業や経営の近代化を促進しているほか、水産物のブランド化や、観光との連携等新たな取り組みを進め、漁業が、水産振興計画に将来像として掲げる「夢と希望と誇りに満ちた魅力ある産業」となることを目指していきたい。(市長)

北海道新幹線工事による経済効果の現状

民主・市民ネット 日角 邦夫

【答弁】 新幹線開業は、地域に多大な経済効果を及ぼすとされているが、開業前の建設工事に伴う経済効果に対しても期待を寄せている。今年度までの工事費は総事業費の8%にとどまり、効果を実感するに至っていない。今後、平成22年度開業予定の九州新幹線等の工事終結により、当地域の工事費の大幅な増額が見込まれ、工事が本格化し地元企業の参入や雇用増加も期待されるなど、一定の経済効果があると考えている。(市長)

自殺防止・うつ病対策の具体的な取り組み

公明党 松宮 健治

【答弁】 これまで市では、市民や企業に対する心の健康相談等を実施しており、昨年度において、働く人のメンタルヘルスをテーマとした講演会を開催するなど、自殺予防やうつ病についての知識の普及・啓発に努めている。今後は、地域の関係機関等で構成する自殺予防対策連絡会議を設置し体制づくりを進めるとともに、道が策定予定の自殺予防対策行動計画を見据えつつ、一層の自殺予防対策に取り組みたい。(保健所参事)

市長の職責についてどのように考えているか

市民クラブ 本間 新

【答弁】 地方自治の究極の目標は、住民福祉の向上と地域の振興発展とされているが、市長の職責は、市民の幸せを実現していくことと、子どもたちの将来の幸せや夢をつくっていくことを目的とし、最終の責任者として先頭に立って仕事をすることであると考える。市長が元気な顔をすれば市民も元気になるという話があったが、そのとおりと思うし、これからも元気でその職責を果たすべく全力を尽くす所存である。(市長)

ふるさと納税の現在の寄附状況

民主・市民ネット 見付 宗弥

【答弁】 ふるさと納税については、これまで問い合わせが約10件、このうち申し込みが4件あったところである。制度のPRは、市のホームページに「ふるさと応援ページ」を立ち上げるなど、本格的に取り組み始めたところである。寄附をいただいた方には「函館人証明書」を発行し、函館を想う心を持ち続けていただきたいと考えており、今後も、当市を応援していただくよう全庁をあげて積極的に取り組みたい。(市長)

介護労働者の待遇改善のための独自施策導入

公明党 小谷野 千代子

【答弁】 介護労働者は非正規雇用が多く、賃金水準が低いなどの理由で、やむを得ず離職するケースが多い状況にある。独自施策については、千代田区が都心部の物価高を考慮した助成をしているが、当市の厳しい財政状況で同様の助成をすることは難しいものと考えている。なお、国において、平成21年度の介護報酬の改定に向け介護労働者の待遇改善を検討することとしていることから、その動向を注視していきたい。(福祉部長)

温暖化防止計画策定の時期と考え方

民主・市民ネット 板倉 一幸

【答弁】 市においては、環境基本条例や環境基本計画などを策定し、地球環境の保全に係る基本理念や基本方針のもとに温暖化防止を含む具体的な取り組みを行っている。

地域の温暖化防止計画の策定については、国や北海道による地球温暖化対策の動きを踏まえ、早急に取り組まなければならないと考えており、来年度に策定予定の新環境基本計画との整合性を図りながら、その個別計画として策定していきたい。(環境部長)

妊婦健診の公費負担回数を増やすべきではないか

日本共産党 市戸 ゆたか

【答弁】 妊婦健診は、疾病の予防や早期発見など、妊婦および胎児の安全性を確保する観点から重要である。

妊婦健診の公費負担は、妊娠期間中の経済負担を軽減し、少子化対策の一環としても効果があることから、今年度は公費負担回数を2回から3回に増やすとともに検査項目も増やすなど、妊婦健診の見直しを図ったところである。次年度に向けても、さらなる妊婦健診の充実を検討したいと考えている。(市長)

戦時中函館公園のライオンを殺処分したことを謝罪すべき

無所属 三遊亭 洋楽

【答弁】 太平洋戦争が激化し、日本の敗戦も色濃くなるなど、本土空襲が現実味を帯びてきた社会情勢のもと、爆撃によって檻が壊れ、逃げ出した猛獣が人を襲うという懸念から、全国の動物園と同様に、函館公園においても飼育動物の処置が行われたものである。

市民の安全を確保するため、やむを得なかつたとはいえ、残念な出来事であり、戦争と動物の悲しい歴史が、忘れ去られることがないように記録にとどめることが大切なことと考えている。(土木部長)